

Report from the EDGE

ディスレクシア (Dyslexia) とは.....

知的に問題がなく、聴覚、視覚の知覚的機能は正常なのに、読み書きに関して特徴のあるつまづきや学習の困難を示す症状のことをいいます。

EDGE は.....

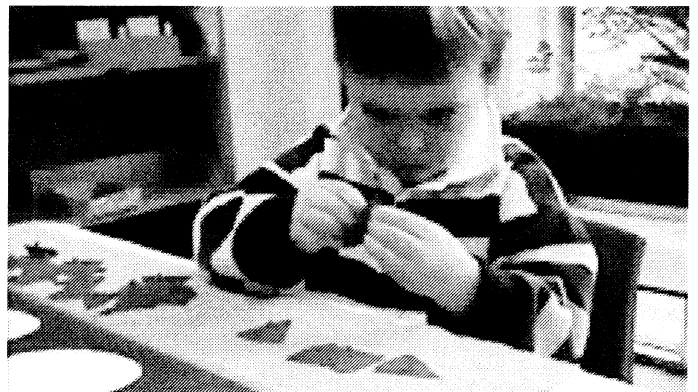
ディスレクシアの正しい認識の普及と教育的な支援を目的とした特定非営利活動法人 (NPO) として、2001年10月に認証・設立され、活動しています。

Nice to meet you

生命が育つお手伝い 深津高子

最近よく「モンテッソーリ教育ってなんですか?」という
いろいろな方に聞かれます。そんなとき、私は理論やモンテッ
ソーリ教具やその提供法の話をする前に、「モンテッソーリ
教育とは生命が育つお手伝いのことで、生命の発達の邪魔
をしないことを学ぶことです」と答えることにしています。

モンテッソーリ教育法 (Montessori Method) は、イタ
リア人で最初の女性医師、マリア・モンテッソーリ (1870
年~1952年) が、多種多様な経済的、政治的、文化的、身
体的、知的発達の異なる幼い子ども達との長年の関わりの中
で発見したものが根拠にある教育体系です。彼女の飽く
なき人間の、特に乳幼児の観察の結果、どの子どもも独自の
発達のプロセスをもっているけれど、その根底には人類
の進化に基づいた普遍的な育ちの道筋が隠されてことを発
見しました。またその生命の育ちを援助し邪魔することなく、
適切な時期に、適量の援助をすることが大切で、より
人間らしい発達には不可欠だという結論に至ったのです。



分数を感覚で理解する

モンテッソーリは、人間は0才から24才までがその後の
成長の土台となるべく顕著な発達と遂げると捉え、それを
更に4つのグループ (発達段階) に分け、それぞれを乳幼
児 (0~6才)、児童期 (6~12才)、思春期 (12~18才)
そして成熟期 (18~24才) としました。個々の発達段階に
は、その時期だけしか見られぬ固有の特徴や固守する対象

発達と障害を考える本

シリーズ監修/内山登紀夫 (よこはま発達クリニック)



ふしぎだよ!?

LD (学習障害) のおともたち

神奈川LD協会 編

わかりやすいイラストと理解しやすい言葉で、LD (学習障害) についての正しい理解と
支援の方法を解説します。子どもたちの日常生活 (学校生活) の中で起こりやすい出来
事を取り上げ、子どもの目線で障害について考える好評シリーズの最新刊! 1,890円

- ★好評発売中★ ①自閉症のおともたち 1,890円
②アスペルガー症候群 [高機能自閉症] のおともたち 1,890円



ミネルヴァ書房 京都市山科区日ノ岡堤谷町1 電話 075-581-0296 <http://www.minervashobo.co.jp>



面積・体積を感覚で理解する

があり、それに対応できる環境が子ども達には必要であり、彼らが個々の段階をフルに生きられるような環境が子どもたちにも必要であり、彼らが個々の段階をフルに生きられるような環境を周りの大人が与えなければならないといっています。

例えば0～3才の子どもの時期は動くことで周りを吸収しそれを自己形成の材料に使うため、子どもたちには手や身体全体を自由に使える環境が必要です。また五感が著しく発達するこの時期に、触れる・見る・聴く・匂う・味わうなどの感覚的に豊かな環境を準備することもとても重要です。ですからモンテッソーリの日常生活の活動（注ぐ、拭く、掃く、洗濯するなど、箒や、雑巾、洗濯板のように本物で子どもサイズの道具を使って、大人が家でしているような動きを紹介します）や、たくさんの感覚教具はこの時期に大きな役割を果たします。紙面の都合で詳細は省きますが、現在たくさんのモンテッソーリに関する文献が出ていますので参考になさってください。小さいお子さんの保護者向きには「ママ、ひとりでするのを手伝ってね！」（講談社相良敦子著）、教育法に関しては「モンテッソーリの発見」—人間らしく育つ権利—（エンデルレ書店 スタンディング著 佐藤幸江訳）がお勧めです。

この様に、各段階を生命の発達に即して尊重されて育った子どもは、動きに調整がとれ、心身ともに調和が見られ、自己信頼感があります。また多くのモンテッソーリの環境は同年齢ではなく、異年齢（例：2才半～6才）が一緒に過ごすので、他人との協調性が育ちます。モンテッソーリ

は、このような人間の発達をもっと進化させていけば、究極的には人類はもっと良くなるはずだと考えました。人類はもっと賢く、まわりの人や自然と調和をもって生きることができるだけではなく、地球の世話をすることができ、それによって恒常的に平和な世界につながると信じた彼女は、科学者・教育者というだけではなく、平和の実践者であり、ある意味での社会変革運動家でもありました。まさに幼い子どもから真の平和を築く実践方法を明らかにした人でした。

さて、このようなマリア・モンテッソーリの思想が、彼女の死後も守られるようにと、1929年に設立されたのが、国際モンテッソーリ協会（Association Montessori Internationale : <http://www.montessori-ami.org/>）です。現在、本部はオランダのアムステルダムにありますが、その主な仕事はこの教育法の普及と、より多くの子どもの真の援助者となるべく大人を増やすための教師養成（トレーニング）です。モンテッソーリ教師の国際資格は0～3才、3～6才、6～12才と対象の子どもの年齢によって異なります。養成コースは世界各地で行われていますが、日本にも0～3才と3～6才という段階に対応した教師養成があります。

来年、2007年はマリア・モンテッソーリが1907年にローマのスラムに作った最初の「子どもの家」から100年を迎えます。来年の1月に、100年祭を原点であるローマで祝おうという国際会議とツアーが計画されています。また同時に、これを記念に、世界中の人々に「子どもを社会の中心に置いて考えよう！」という呼びかけの署名運動をやっています。署名は世界中で集めて世界の政府に送る予定です。

AMIのHP（AMI <http://www.montessori-ami.org/>）をご覧になると、署名文は日本語にもなっていて、オンラインで署名もできますので是非ご協力ください。

子どもから始まる平和のために・・・

国際モンテッソーリ協会理事 深津 高子
（写真提供：国際モンテッソーリ協会）

寄 付 の 御 礼

英国イートンカレッジ聖歌隊チャリティーコンサート
18年4月13日東京芸術劇場大ホール

イートンカレッジサービス日本事務所のご厚意により100枚コンサートの券をご寄付いただきました。御礼申し上げます。しばし、世のわずらわしさから逃れて、初々しくて、ちょっと生意気な少年達の歌声に聞きほれました。東京芸術劇場の大ホールのすごいパイプオルガンも生徒が弾いてゾクゾクするような高揚感を味わいました。後半には聞きなれた曲もアカペラで新鮮に。また、2年後の公演が楽しみです。

ディスレクシアに出会った

赤城 智美 (アトピッコ地球の子ネットワーク 事務局長)



アトピッコ地球の子ネットワーク

<http://www.atopicco.org> e-mail:info@atopicco.org

TEL03-5414-7421 FAX03-5414-7423

〒106-0032 東京都港区六本木 4-7-14 みなとNPOハウス 3F

「智ちゃんのことを書いてある本をみつけたよ」と言って、ある日姉が本のコピーを持って来ました。小学校低学年の頃は、1年のうち80日間しか学校に行かなかった私。喘息があつて体調が悪く、学校は休みがちだったけれど、一度休んでしまうと長々と家にいてひとりぼっちを満喫していました。一般の人の出席日数はおよそ210日くらいだったと思います。それと比べると本当にあまり学校に行っていなかったのだなあとしみじみします。

80日を覚えている理由は。当時の小学校はその日数の出席があれば、学年を終了させてくれたので、朝学校に行つてすぐ帰ってしまったり、父につれられて行って挨拶して帰ったり、辻褄をあわせて学年を上がったので、家族が「あと何日足りない」といつも気にしていたからです。2つ上の姉がいたので、4歳のときから文字を読み、詩を書いていたのですが、文字は裏返しでした。小学校の何年生までか覚えていませんが、裏返しを直す練習をしていました。右手と右足が同時に出てしまう歩き方をしていたので、「普通」の歩き方とスキップの練習を部屋の中でいつもやらされていました。家にいる間は一人黙々と詩を書き、本を読み、人になじまない子どもだったように思います。小学校5年生のとき、パールバック、夏目漱石、ヘルマンヘッセなどを読んでいて、担任の先生が「もっと年相応のものを読んでもいいんじゃないか？あせらなくてもいいよ」と手紙をくれたことがとても印象に残っています。中学校の入学試験のとき、問題を読んで解答欄に回答するしくみにうまくなじめず、余白に回答を書き、解答欄に答えを書かなかったため、全教科真っ白の解答用紙を提出してしまいました。試験官が余白の回答を読み取ってくれて、なんとか事なきを得たのですが、そこでもう中学校が半分きらいになっていました。入学後まもなくだったと思うのですが、アンドレ・ジイドとカフカを読んでいて、不条理について作文を書いたら父親が学校に呼び出されてしまいました。

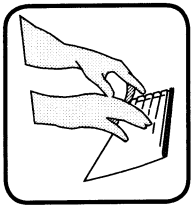
こんなものを12歳で読みふけるのは家庭に問題があるのではないかと言われたようでした。本を読み、詩を書く以外は、まともにできることがほとんどなかったので、自己評価も低く、人になじまないで、家族は「智ちゃん」をどうしたものか、少々もてあましていたようでした。

私が40歳になったとき姉がディスレクシアについて書かれた本のコピーを人からもらい、少し興奮ぎみに説明してくれました。「もっと早くディスレクシアについて知っていたら、もう少し気持ちが楽に生きられたよね」と姉と二人うなづきあったものでした。

人の名前と顔があまり一致せず、とりいそぎその場を切り抜けるために明るく元気で愛想がいいのですが、家に帰るとへとへとになり、喘息の発作をおこし人に会わなくなる。そんなことの繰り返しは、ただもの覚えが悪いからだと思っていました。大学生になった頃は、緊張と疲労から身体が硬直しチックを起こしていました。喘息の悪化と常備薬の副作用などの悪いことが重なって十二指腸炎をおこし、身体の振るえと頭痛が常にありゼリーやヨーグルトなどの形のないものしか食べられないような状態も持続していたのに、よく学校を休まなかったものだと思います。

人の名前と顔が一致しないことを勇気を出して打ち明けると「私ももの覚えが悪くて」「みんなそうなのよ」と返されることがほとんどでしたから、私の「どうしようもない」感じを説明できる言葉があるとは思っていませんでした。

人と会う前にメモなどを見て前回会ったときのことをおさらいしたり、名刺をじっと眺めて出来事を記憶すれば、次にあったときうまくいくという小技を身につけて、顔と人の名前ではなく、文字と記憶の關係に置き換えることができるようになりました。私は何ができなくてこんなに困っていたのか、ディスレクシアという言葉に出会ってようやく解明できたのです。



手元を見ないでパソコンが使えますか？

PCキーボードの学校「エクスフレ」校長・増田忠士

キーボードを10本指で打ちたい気持ちはあっても、2本指でそこそこ打てていれば、きちんと練習をする気にはなかなかないようです。

しかし、それは補助輪を付けたままで自転車を乗り回しているようなものではないでしょうか。出来れば、カッコよく、颯爽といきたいものです。

私が「タッチタイピングは自転車に乗るより簡単ですよ」と誘えば、「何時間で覚えられますか？」と尋ねられるのが常です。

「手元を見ないで打てるようになるまで、2時間ですわね」と答えるのですが、実はその先があります。

10本指で打てるようになってからも最初は頭の中を探る感じを伴い、速く打とうとすればするほど間違えたりします。そうした期間を乗り越えて、意識しないで正確に自分の最高速度で打てるようになるまでに約1カ月はかかります。

練習をする気がなくなりましたか？

でも「毎日30分程度で大丈夫ですよ」と言えば、少しは気持ちが動くのではないのでしょうか。

30分掛ける30日、つまり15時間ほどの頑張りで「どこでもパソコン、誰でもパソコン」時代の現代に必須の技術が身につくのですから、挑戦してみる価値はあるのではないのでしょうか。その後の長い人生のことを考えてみてください。

私には、中学生の頃、夏休みに毎日1～2時間も練習をしたのに英文タイプがマスターできなかった過去があります。30代の初めにも「かな入力」の練習を1カ月以上毎日約2時間続けたのに、マスターできませんでした。

キーボードの劣等生だったからこそ、練習法の違いがよく分かるのです。なぜ、そんなに簡単に覚えられる方法が作れたかといえば、自分や他人のミスタイプを集め、打ち間違いがどうして起きるのかを詳しく研究したからです。

失敗からの発想です。

今では50代半ばの私ですが、どんな入力方式でも数時間練習すれば10本指で打てるようになり、毎日30分約1カ月で900字／10分というワープロ検定1級レベルになれます。もちろん、多少の個人差はあります。

キーボードで自由に日本語入力が出来れば、メールを書いたり、資料を作ったり、ネット上で発言する力がパワーアップしますし、時間の節約にもなります。

ディスレクシアの子どもたちにも、手書きが苦手ならキーボード入力を覚えさせると良いのです。ローマ字表記が苦手でも、私の教える方法は仮名の50音図を使って指に覚えさせますから、いちいち「きょうは=kyouha」などと考える必要はないのです。

練習教材には市販の本や練習ソフトだけではなく、耳で聞きながらの音声タイプのものもありますし、ネットを使った通信教育もやっています。年に1、2回はNPO-EDGEでも講習会が開催されるはずですよ。

家族の誰かがマスターすれば、「えっ、どうやったの？」となるはずですよ。同じ教材を使って、今度は次に練習をする人にいろいろとアドバイスが出来ます。きっと家族全員がタッチタイピングになれるはずですよ。

私の夢は、そうして次々とタッチタイピングが出来る人を増やし、日本人全員にマスターさせたいのです。日本語入力には仮名漢字変換が付きまとい、タイプライターが生まれた西欧よりも手元を見ないでキーボードを打ちこなす必要があるからです。

日本では、ほぼ全員が自転車に乗れるのではないのでしょうか。ですから、私のこの目標もそれほど無茶なものではないと信じています。

皆さんも、一緒にやってみませんか？

ラクラクタッチタイピング講座受講者募集中！

講座は、親子で参加いただき、パソコンを使って習得法の講義と実習を2時間行います。その後は、先生から届くメールによるフォローアップ講習で、毎日30分ほど自宅で自習し、約1ヶ月で習得するという内容です。

開催日時 2006年7月22日（土）午後2～4時

場所 港区内（応募された方にご連絡いたします）

講師 増田 忠士 (KFE05101@nifty.com)

費用 親子二人でEDGE会員は10,000円、非会員は12,000円（テキスト代、フォローアップ講習を含む）

対象と条件 文字・文章を書く意欲のあるお子さんと親。お子さんはカナの50音構造を理解している事が望ましい。当日は講習に使用するパソコンを当方で準備します。（PC持込も可）

主催・申込 NPO-EDGE (TEL 03-5413-3356、FAX 03-5413-3358、info@npo-edge.jp)

講師紹介 1987年末に全く新しいキーボード練習法を発表し、25冊以上のテキスト本やCD-ROMなどを出しています。この練習原理を使えば、あらゆる入力方式に対して適切な練習法が作成できます。

UNESCO国際識字の10年



1990年の「国際識字年：International Literacy Year」にタイで「万人のための教育世界会議」が開かれました。「2000年までに全ての人に教育を Education for all (EFA)」を合言葉に、各国政府、国際機関、各国NGOなどが基礎教育の普及と充実に向けた挑戦を続けようと決意を新たにしました。

2000年、セネガルで「世界教育フォーラム」が開かれました。過去10年の成果を見直した結果、初等教育分野では大きな進展が見られたものの、非識字問題に関しては人口増加に教育の普及が追いつかず、絶対数を比較すると、成人非識字者はわずかに減少したにすぎませんでした。こうした結果を踏まえ、現実的な達成目標を通して、新たに「EFAプログラムにおける6つの主要なゴール」を設定し、国際社会が一体となった今後の取り組みへの決意を新たにしました。

2001年12月、国連総会は2003年から2012年までを「国連識字の10年：すべての人に教育を」とすると宣言しました。総会は、「すべての人に読み書きの能力を与えることが、すべての人に基礎教育を保証するという概念の基礎であり、識字教育の環境を整えることが貧困の撲滅と男女平等を実現し、持続的発展を確実にものにするための条件として必須である」ことを改めて確認しました。(社団法人日本UNESCO協会 <http://www.unesco.jp/index.html>)

ほとんどの対象は発展途上国だと思われていますが、先進国の中にも実は移民や家族環境などで読み書きの能力を十分に備えていない人がいることもわかってきました。また、私達のNPOが取り組んでいるディスレクシアも例外ではありません。

ベルギーに本部を置くDITT (Dyslexia International Tools and Technology) はディスレクシアのアドボカシー・グループとしてNGOの中でも

本年9月の総会で認証されることになりそうです(現在手続き中)。

実はEDGEはDITTの会員にもなっており、日本のディスレクシアへの対応の状況もDITTに報告をしています。UNESCOの教育ポータルサイト用に作成したのですが本文をそのまま掲載すると何のことやわからないので、英文で出されたものを要約しましたのでご覧ください。(DITT <http://www.ditt-online.org>)

(藤堂栄子)

報告書より：

UN内のUNLDセクションでは教育がうけられないことからくる発展途上国の非識字への対応に重点を置いている、しかし日本のように発展している国でも5%から10%の国民が非識字とされている。この数字はディスレクシアの発生率(人口の10%程度)と重なっている。この報告書は日本でのディスレクシアに関する状況を伝えるだけでなく、世界中の読み書き困難へのサポートの重要性を知らせることも目的とする。報告書にはNPOエッジを通じて2004年から2006年にかけての日本でのディスレクシアへの対応に関する情報が記されている。日本は経済とテクノロジーの進歩にもかかわらず、ディスレクシアへの対応は欧米よりも30年ほど遅れているとされる(現在はだいぶ対応が進みつつある)。現在ディスレクシアはLD(学習障害)の一種とされていて、「日本語でディスレクシアとは医学用語として使われているだけで、教育の場ではLDとまとめられている」(NPOエッジ)。これらを理由に日本では非識字とディスレクシアとは正確に区別されていないが、近年では新しい法律ができるなど少しずつでも理解は増えてきている。

(藤堂亜美)

文責 藤堂栄子/藤堂亜美

ソーシャルスキルトレーニングの実際

埼玉西部地区 LD・AD/HD 等研究会

SST = social skills training という言葉をお聞きになったことがありますか？私たち（埼玉西部地区 LD・AD / HD 等研究会）が地域支援の一環としてこの活動に取り組み始めた 5 年前まであまり知られていませんでした。

ところで私たちの研究会は教員・相談員・支援員・スクールカウンセラーなど学校現場で働く者の集まりです。かつて私たちは軽度発達しょうがいを持つ子どもの対応に苦慮し、その理解のためにこの研究会ができました。最初に私たちが考えたことは対象となる子どもの親に対応のヒントを聞こうということでした。そこで私たちの学習会に来ていただき連携が始まりました。

はじめて SST に取り組むとき、親御さんも「SST ってなに？」という感じのスタートだったのです。

ところが、この活動 = SST たんぼぼ土曜教室 = に参加された親御さんから「SST で子どもの行動が変わる」というお話が広がり、今では毎年定員いっぱいの参加者です。それに平行してこの 2、3 年 SST についてどのように支援するのか、また、見学させてほしい、指導してほしいという依頼も増えてきました。

発達に偏りを持つお子さんは日常生活の中から対人関係を学ぶことが苦手です。また、自分の不適応行動を直すことが苦手です。

そんな子どもたちに「良好な対人関係のコツを学ぶ方法」として SST があります。

SST は①子どもの抱える問題の改善 ②対人関係スキルの習得を目的に取り組めます。子どもたちが SST を通して自分の問題を自分で解決できるようになること、将来、苦手な場面に遭遇したとき回避するスキルを身につけることは、対人関係がスムーズになるだけでなく子ども自身が自分のことを認められる大切な力となります。

SST の本当の意味での目標は自己肯定感の向上にあるといっても

良いでしょう。

私たちのグループでは基本的な対人関係スキル ①コミュニケーションスキル ②参入スキル ③共感スキル ④自己主張スキル ⑤問題解決スキルなどをプログラムに取り入れ対応しています。SST には基本的な流れがあります。

- ① イントロダクション（導入）
取り組みの目標を言葉で伝える
- ② モデリング・・・場面モデルを見せる・やってみせる
- ③ リハーサル（ロールプレイ）
練習させる
- ④ フィードバック
取り組みの良いところをほめる

SST はこの流れに沿って対応します。

もちろん、この手順に沿ってやればよいと言うものでもありません。SST が成功するためのコツ、それはやはり子どもたちが楽しく取り組めることが一番大切なことです。その中で安心できる場と感じ、信頼できる人たちと関わり、認められる体験を積み重ねていくことが大切です。

私たちが始めて取り組んだとき、いろいろなタイプの子どもたちがおり、反応も個性的！一人の子どもがこっちにいれば、もう一人は全く反対側にいる。なんてこともあり右往左往する中で取り組んでいました。そこから私たち自身が SST の環境をどのように構成するのか、ポイントを絞って内容を工夫するなどしながら成長させていただきましたが、子どもたちはさらに大きく成長し「たんぼぼ」を巣立っていきました。

今後 SST 支援の場がいろいろな地域に広がることを心から願っています。

かえつ有明中・高等学校
スクールカウンセラー 池田聡子

特別掲載

学習支援員養成講座で、ご講義いただいている山本淳一先生のお書きになった小エッセイを今回掲載いたします。たいへん参考になる記事なので、先生に転載の許可をいただきました。「三田評論 2006年4月号 (NO.1089) より」

「おもちゃ」を使って発達を促す

やまもとじゅんいち
山本淳一（慶應義塾大学文学部教授）

私の専門の研究領域は臨床発達心理学である。発達や学習に遅れや偏りや障害をもつ子どもたちにとって有効な心理学的支援方法を体系化する実証研究を行っている。臨床心理学と言うと、子どもの心の奥底を探っていくための心理検査などを思い浮かべることが多いと思うが、子どもたちへの臨床支援のはじめには、物への興味を色々なおもちゃを活用して引き出す。おもちゃを媒介にして、人と遊ぶとものと面白い事を経験してもらい、相互作用を楽しめる状態に展開していく。学部や大学院の学生たちは、発達評価方法や専門的な支援技法を学ぶ前に、様々な困難を抱える子どもと楽しく遊ぶにはどうしたらよいか実践し、体験として得たものを知識の中で体系化することを学ぶ。

パズル、パペット、ミニチュア、手品、カードゲーム、コンピュータゲーム。感覚が楽しいもの、完成感が得られるもの、見立て遊びができるもの、一瞬の知的好奇心を生み出すもの、役割交替ができるもの。学生たちは、これはというおもちゃを探してくる。それらを駆使し、発展させて、いかに子どもたちの運動発達、認知発達、言語発達、社会発達を促すことができるか。発達臨床家としての腕の見せ所である。

新刊図書

★学生相談室報告書 2004年度

成城大学・成城大学短期大学部 学生相談室 2005/12/30

★自閉症者からの紹介状 「色と形と言葉に映した私の世界」

月文 瞭 著 安達 潤 長沼 陸雄 解説

株式会社 明石書店 2006/1/15

★LD研究

日本LD学会編集委員会 編集

日本LD学会 発行

株式会社 金剛出版 2005/11/30

★発達と障害を考える本

① ふしぎだね!? 自閉症のおともだち

諏訪 利明 安部 陽子

株式会社 ミネルヴァ書房 2006/3/3

② ふしぎだね!? アスペルガー症候群〔高機能自閉症〕のおともだち

諏訪 利明 安部 陽子

株式会社 ミネルヴァ書房 2006/3/3

★一頭はいいのに、本が読めないー

サリー・シエイウイツ 著

藤田 あきよ 訳

加藤 醇子 医学監修

PHP研究所 2006/4/28

★「できない大学生」たちが、なぜ、就職で引っ張りだこになったか

カワン・スタント

株式会社 三笠書房 2006/2/10

★弱さを強さに変えるセルフコーチング

辻 秀一

株式会社 講談社 2003/6/20

★もじのかたちをとらえるための「ひらがなれんしゅちょう」改訂版

小野村 哲

特定非営利活動法人 リヴォルヴ学校教育研究所 2006/3

★よめる かける ABC英語れんしゅちょう

小野村 哲

特定非営利活動法人 リヴォルヴ学校教育研究所 2006/3

★発達と障害を考える本

3 LD (学習障害)のおともだち

監修 内山 登紀夫

編 神奈川LD協会

ミネルヴァ書房 2006/5/1

事務局

最近の活動紹介

4月20日 港区特別支援教育仕組作り検討委員会

4月22日 英語塾説明会

4月24日 理事会

4月30日～5月7日

愛をはこぶ人キャンペーン特別企画

ソープ絵画展 横浜赤レンガ倉庫

5月2日 上野教授講演会

「もっと知ろうLD・ADHDの世界

特別支援教育のこれからの課題」

横浜赤レンガ倉庫

5月10日 LSA情報交換会

5月13日 英語塾新学期開講

5月18日 港区特別支援教育仕組作り検討委員会

5月18日 港区内小中学校の特別支援教育担当者説明会

5月24日 スクリーニングツール日本語化研究会

6月7日 麻布山幼稚園にて港区事業紹介と擬似体験

6月10日 LSA フォローアップ研修+情報交換会

6月11日 LD親の会総会 (NPO EDGE後援)

今後の活動予定

7月21日、23日から25日、27日

ソーシャル・スキル・トレーニング講習会

7月22日 ラクラク親子タッチタイピング講座

8月7日～9月27日

LSA養成講座第3期

第五回ディスレクシア当事者会の報告

4月8日(土)の会合は当事者3名、当事者の母親2名で行われました。桜も散り、お花見を目論んだ方は肩透かしを食らったかもしれません。今回は私(柴田)が朝日新聞の記事を用意して、これを参考にしながら、言いたいことを言う趣向で始まりました。飲んで、騒いでと考えていましたが、いつの間にか真面目な話題になりました。「ピンチに立ったときの対処法」に話題は移って行きましたが、「まずわかってもらうこと」が大事だということに全員の賛同がありました。また、当事者側から「周囲の理解してくれそうな人々には告知したほうがいい」という意見が出てきました。

しかし、母親側から「子どもにディスレクシアだと知らせると、勉強をサボる口実にするのではないか。さらには付属校の高校では進学を許可してくれるかどうか、不安だ」という心配が出てきました。

という心配が出てきました。

今回は参加者の皆さんがメモを取りながら、討論に参加したのが、印象的でした。参加者の意識が高くなり、真摯に取り組んでくれる姿を見るのは世話人として、たいへんうれしいことです。今回も、U君がわざわざ、長野から出席しました。前は少しためらいがちでしたが、自分の意見を堂々と述べてくれました。初めて意見交換らしいものが出来て、今後への展望を見つけました。世話人がもう少し準備して、参加者が意見を述べやすいように、うまく進めるとさらによく進んでいくでしょう。

最後に参加された母親の方が「ディスレクシア、LDだと言っても、ごく普通の人々とちっともかわらないことがわかりました」としみじみと、おっしゃいました。当事者として、一番感動したひとことでした。次回を期待したいものです。

(文責：柴田)

ロダンとディスレクシア



カカオの像 ©KIYO HIRAHARA 1958

母の日にあたる5月14日曜日、上野の国立西洋美術館で開催されているロダンとカリエール展に行った。目的は2つ、昨年8月に亡くなった彫刻家で自称ディスレクシアだった母を偲ぶこととひどくディスレクシアであったロダンのことを感じるためである。

ディスレクシアであったロダンは美術学校では才能は認められながらも、なかなか上の学校に行けなかったため、職人として彫刻に関連するありとあらゆる仕事に就く。それが幸いして、回り道ではあったが独特の中から力強さや人間性がほとぼしる作品が作られるようになる。

彼が妻に送った手紙については「ロダンはよくスペルや句読点のまちがった手紙を書いたが、それを指摘されると、こういって言い訳した。『確かに私はよくスペルをまちがえる。でも、ほかの人もよく間違っただッサンをしているよ。』」（「ロダン 神の手を持つ男」「知の再発見」双書

められながらも、なかなか上の学校に行けなかったため、職人として彫刻に関連するありとあらゆる仕事に就く。それが幸いして、回り道ではあったが独特の中から力強さや人間性がほとぼしる作品が作られるようになる。

124) また、展覧会のカタログには自筆の文章が掲載されていたが、そこにもavoirのはじめのaを微妙にaとoどちらとも取れるように書いてあった。これはディスレクシアであるわが息子が「い」と「こ」の角度を45度傾けどちらとも取れるように書くのとは共通している。

よく、ディスレクシアの人は見なくても物の裏側や中身までわかる力を持っているといわれている。ロダンも彫刻を作るときにまず裸体を作り、それに服を着せて立像としていた。バルザックの像もそうである。バルザックはすでに亡くなっていたので、彼の書物や遺したものを研究し、最後には写真を元にバルザックの生まれ故郷から似た風貌のモデルを連れてきて裸体の石膏を作り、その型の上に実際にバルザックが愛用していた服を着せて作ったそうである。

それから60年ほど経ってから私の母は同じモデルを使って「Tête de Cacao」という胸像をブロンズで作成している。どちらの目的も満足行くまで達成して帰宅した。ちなみにスウェーデンに本部があるThe Rodin Remediation Academyは近眼でディスレクシアであったロダンを立派に育てた彫刻家ロダンの父にちなんで命名され、学際的にディスレクシアの原因や対応法を研究する機関として1984年に設立された。(文責：藤堂)

愛をはこぶ人キャンペーン

ゴールデンウィーク中の4月30日(日)から5月7日(日)までの期間、横浜赤レンガ倉庫において、「愛をはこぶ人キャンペーン」では、マッケンジー・ソープさんの絵画展が開催されました。また、「もっと知ろうLD・ADHDの世界特別支援教育のこれからの課題」と題した上野一彦教授の講演会も、5月2日(火)に開かれました。

期間中、本当にたくさんの人たちが来場されました。絵の前でじっと立ち尽くし、見つめて涙を流す人、間違っ

て来て！見て見て！」とお母さんお父さんを引っ張って来る様子など、ソープさんの絵の持つ不思議な力を実感しました。非情な苦境を乗り越えたものみの持つ力強さ、優しさ、透明感が彼の絵にはあります。それが絵画という媒体を介して、人々の心の深いところに繋がっていく。

人生は「ほんの小さなきっかけ」で、大きな機会をつかむことが出来ます。「愛をはこぶ人キャンペーン」への関わりが、この「きっかけ」を生み、人生の転機につながっていけばと思います。(文責：藪)



Report from the EDGE - 第11号 -

2006年6月25日発行

発行者 NPO法人EDGE

発行責任者 藤堂栄子 東京都港区六本木4-7-14

みなとNPOハウス4F

Tel.03-5413-3356 Fax.03-5413-3358

編集 NPO法人EDGE事務局 柴田章弘

印刷 株式会社 信英堂

<http://www.npo-edge.jp>

http://blog.livedoor.jp/npo_egde/

[email:info@npo-edge.jp](mailto:info@npo-edge.jp)